

株式会社ニッカトー 2018年3月期決算報告

目次

1. 2018年3月期業績概要
2. 2019年3月期業績予想
3. 事業トピックス

目次

1. 2018年3月期業績概要

2. 2019年3月期業績予想

3. 事業トピックス

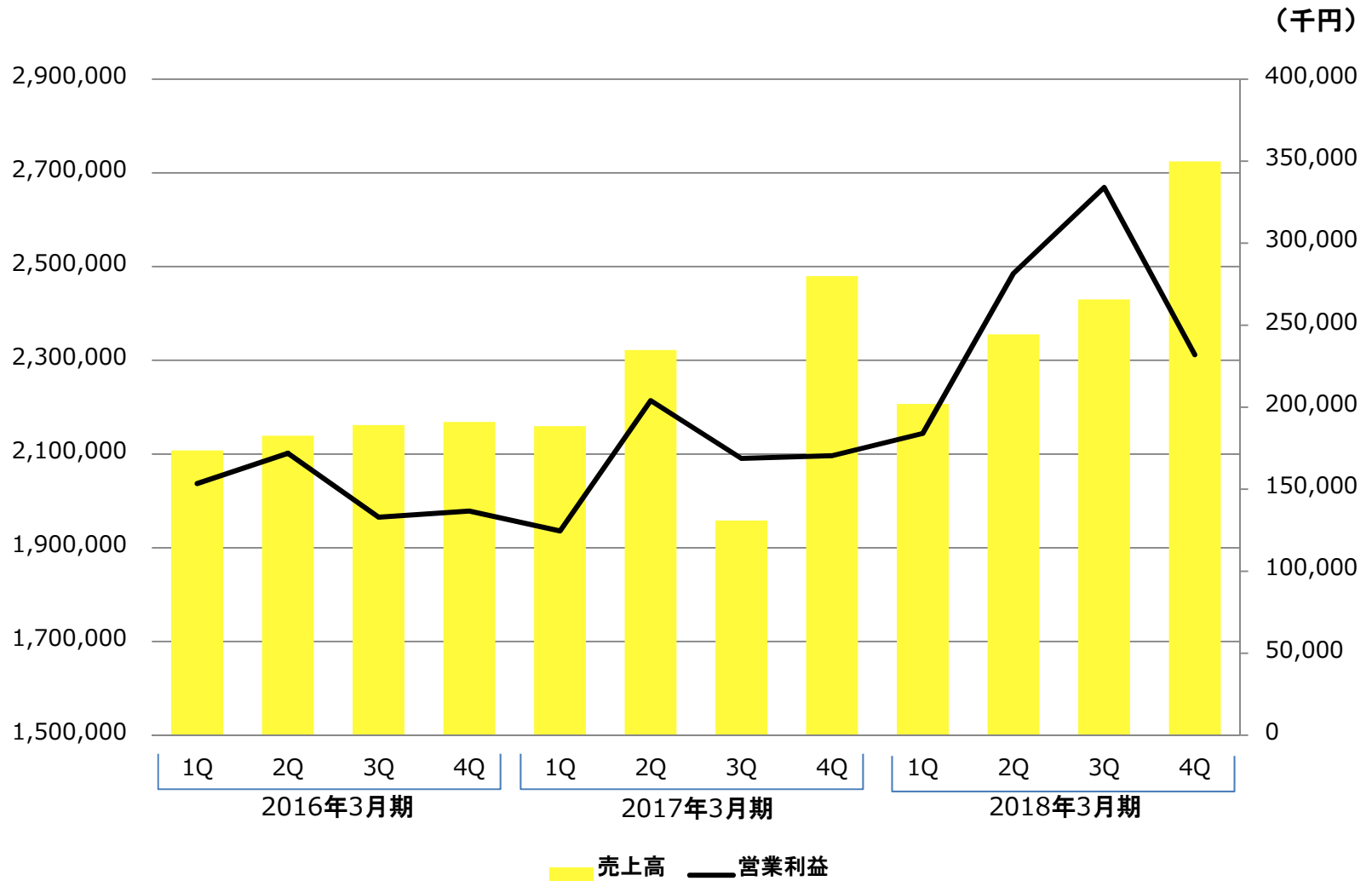
経営成績の概要

(単位：千円)

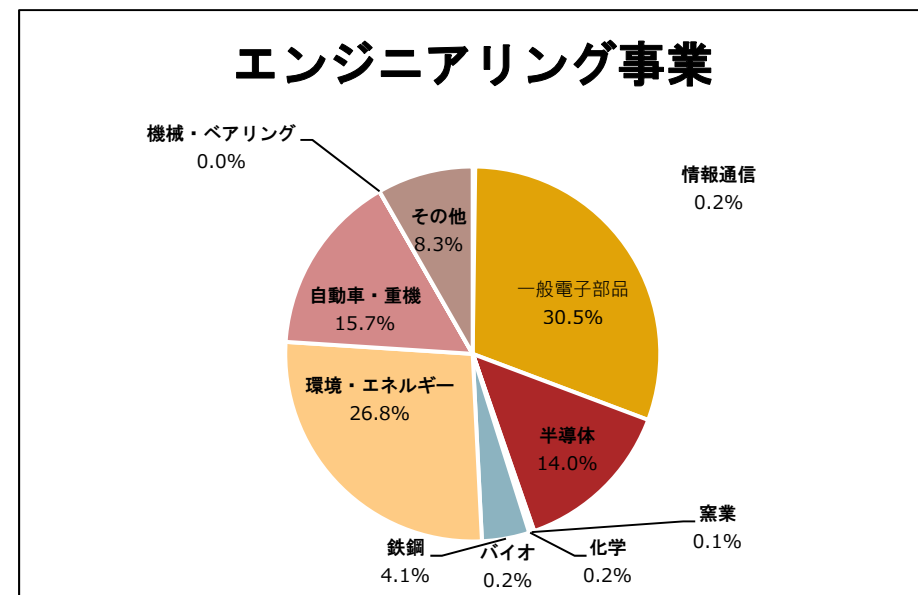
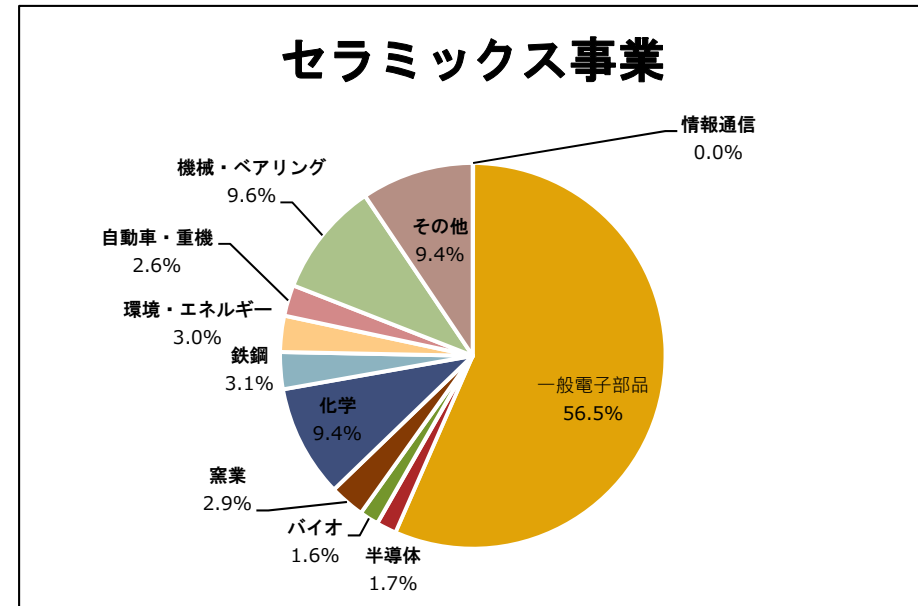
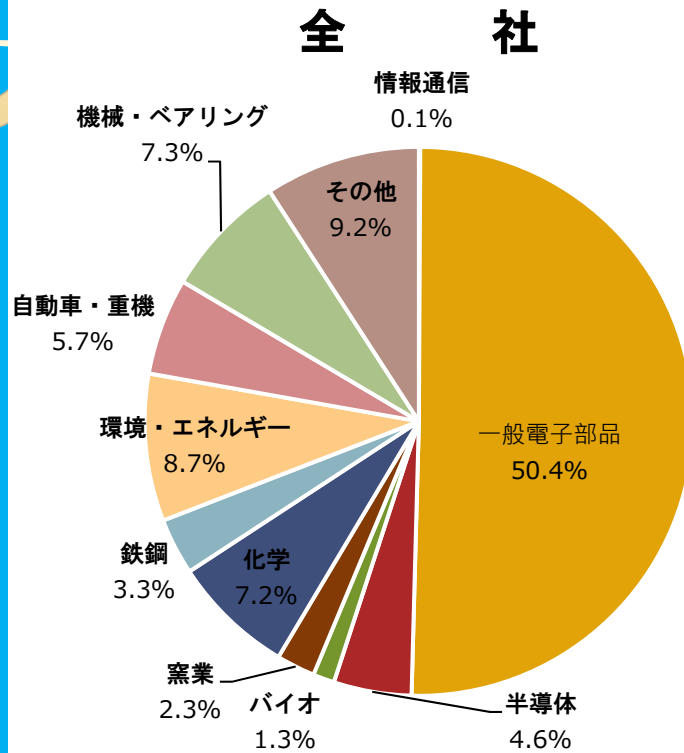
	2017年3月期		2018年3月期		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	8,919,074		9,716,607		797,533	8.9%	9,400,000	103.4%
売上原価	6,981,798	78.3%	7,305,078	75.2%	323,280	4.6%	7,100,000	102.9%
販売費及び一般管理費	1,269,602	14.2%	1,380,014	14.2%	110,412	8.7%	1,350,000	102.2%
営業利益	667,673	7.5%	1,031,514	10.6%	363,841	54.5%	950,000	108.6%
経常利益	703,641	7.9%	1,074,881	11.1%	371,239	52.8%	970,000	110.8%
当期純利益	477,665	5.4%	751,964	7.7%	274,298	57.4%	660,000	113.9%

研究開発費	199,016	2.2%	216,825	2.2%	17,809	8.9%	-	-
EPS (円)	40.02	-	63.00	-	22.98	-	-	-
ROA (%)	3.6	-	5.3	-	1.7	-	-	-
ROE (%)	5.0	-	7.4	-	2.4	-	-	-

売上高・営業利益推移（四半期毎）



マーケット別構成比

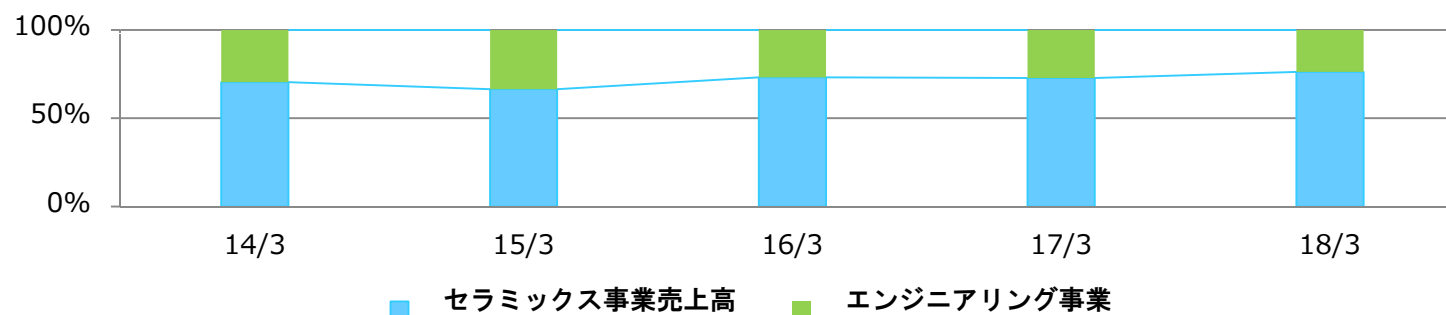


セグメント別業績

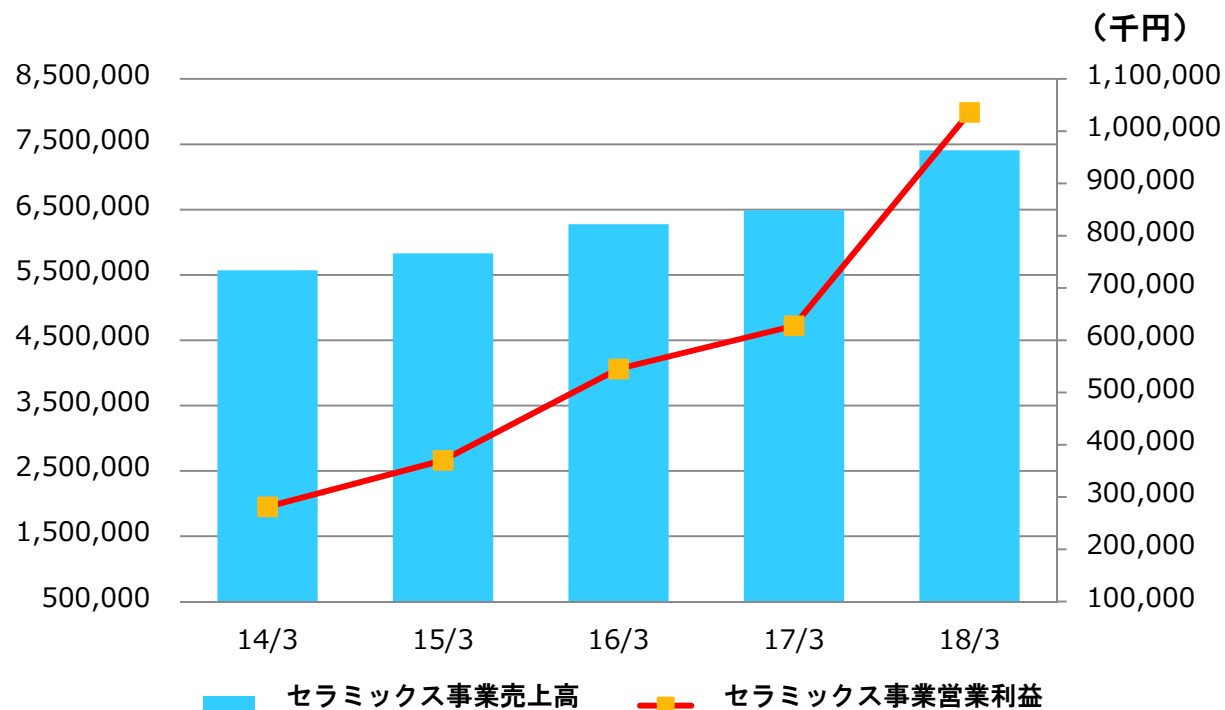
(千円)

	2017年3月期		2018年3月期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	8,919,074	-	9,716,607	-	8.9%
セラミックス事業					
機能性セラミックス	389,166	4.4%	399,078	4.1%	2.5%
耐摩耗セラミックス	4,128,387	46.2%	4,829,426	49.7%	17.0%
耐熱セラミックス	1,751,399	19.6%	1,966,427	20.2%	12.3%
理化学用陶磁器他	219,536	2.5%	213,623	2.2%	△ 2.7%
合 計	6,488,489	72.7%	7,408,555	76.2%	14.2%
エンジニアリング事業					
加熱装置	1,058,265	11.9%	699,620	7.2%	△ 33.9%
計測機器・同システム	1,372,318	15.4%	1,608,431	16.6%	17.2%
合 計	2,430,584	27.3%	2,308,052	23.8%	△ 5.0%
営業利益	667,673	-	1,031,514	-	-
セラミックス事業	627,739	-	1,035,993	-	-
エンジニアリング事業	39,933	-	△ 4,478	-	-

売上構成比の推移

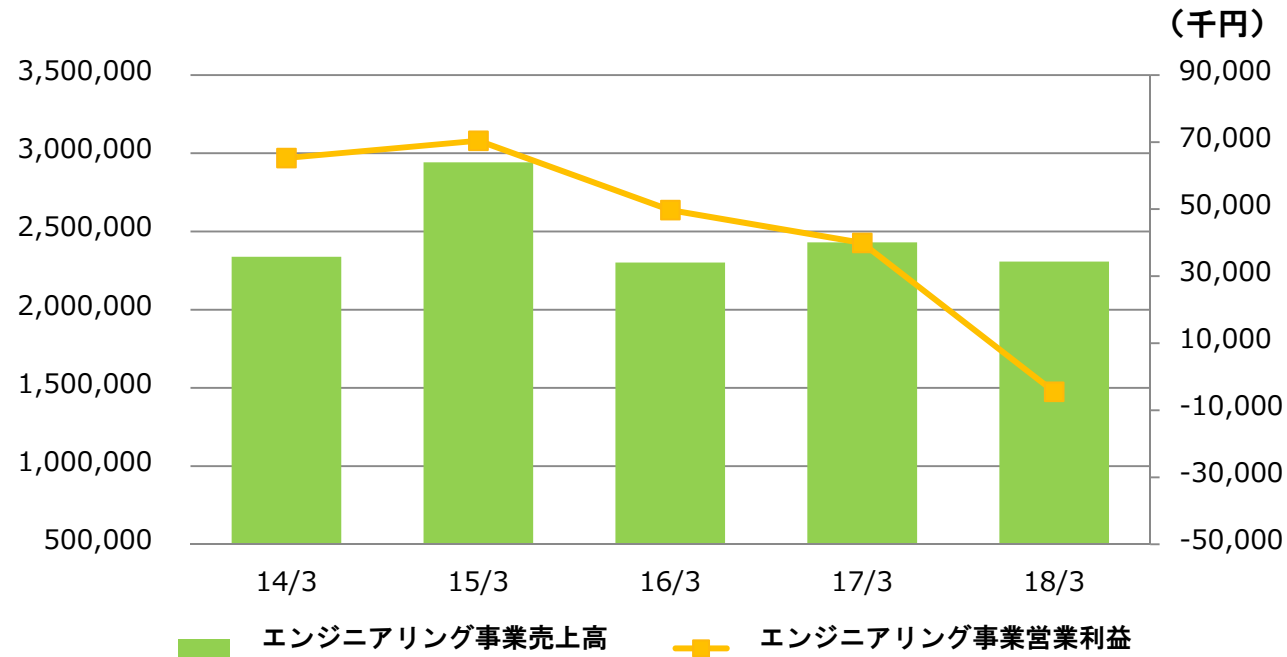


セラミックス事業



- Y T Z ボール・S N T O 7 ボール・アルミナボールの耐摩耗性セラミックスが引き続き好調を維持
- セラミックス管類も復調気配
- 工場の稼働率も高水準を維持

エンジニアリング事業



- 厚木営業所開設効果もあり計測機器は増収
- 加熱装置は苦戦
- 受注は計測機器中心に堅調

貸借対照表

(千円)

	17/3末	18/3末	増減率
流動資産	8,001,668	8,802,260	10.0%
現金預金	2,892,044	2,802,684	△ 3.1%
売掛債権	3,078,731	3,621,910	17.6%
棚卸資産	1,815,431	2,143,647	18.1%
その他	215,461	234,018	8.6%
固定資産	5,642,693	5,940,770	5.3%
有形固定資産	3,387,352	3,557,002	5.0%
無形固定資産	57,838	53,241	△ 7.9%
投資その他	2,197,501	2,330,526	6.1%
資産合計	13,644,361	14,743,030	8.1%

- ・ **流動資産**
現金預金 売掛債権・棚卸資産の増加に伴い現金預金は減少
- ・ **固定資産**
有形固定資産 土地取得に伴い増加
投資その他 株価上昇に伴う投資有価証券の評価増に伴い増加

	17/3末	18/3末	増減率
流動負債	3,258,332	3,828,936	11.4%
買掛債務	1,538,873	2,000,603	30.0%
短期借入金	556,508	517,352	△ 7.0%
その他	1,162,950	1,110,981	△ 4.5%
固定負債	530,875	544,493	2.6%
長期借入金	100,048	57,196	△ 42.8%
その他	430,827	487,297	13.1%
純資産	9,855,153	10,569,600	7.2%
株主資本	9,379,328	9,940,061	6.0%
評価・差額等	475,825	629,539	32.3%
負債・純資産合計	13,644,361	14,743,030	8.1%

- ・ **流動負債**
買掛債務 売上の増加に伴い増加
- ・ **固定負債**
その他 株価上昇に伴い繰延税金負債が増加
- ・ **純資産**
株主資本 利益剰余金の増加に伴い増加
評価・差額等 株価上昇に伴う評価差額金の増加に伴い増加

キャッシュフロー計算書

(千円)

	17/3末	18/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,062,637	959,195	△ 103,442
税引前当期純利益	700,955	1,071,687	370,731
減価償却費	496,652	540,032	43,379
棚卸資産の増減額	247,994	△ 328,216	△ 576,210
その他	△ 382,965	△ 324,308	58,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	177,663	△ 775,269	△ 952,932
有形固定資産の取得	△ 331,056	△ 865,352	△ 534,295
その他	508,720	90,083	△ 418,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 189,020	△ 273,286	△ 84,265
配当金の支払額	△ 154,969	△ 191,033	△ 36,064
その他	△ 34,051	△ 82,252	△ 48,200
現金等の増減額	1,051,280	△ 89,360	△ 1,140,640
現金等の期末残高	2,872,044	2,782,684	△ 89,360

- ・ 営業CF
棚卸資産の増減額
在庫の増加
- ・ 投資CF
有形固定資産の取得
セラミックス事業設備投資
- ・ 財務CF
配当金の支払額
配当額13円→16円
- その他
借入金の返済による減少

目次

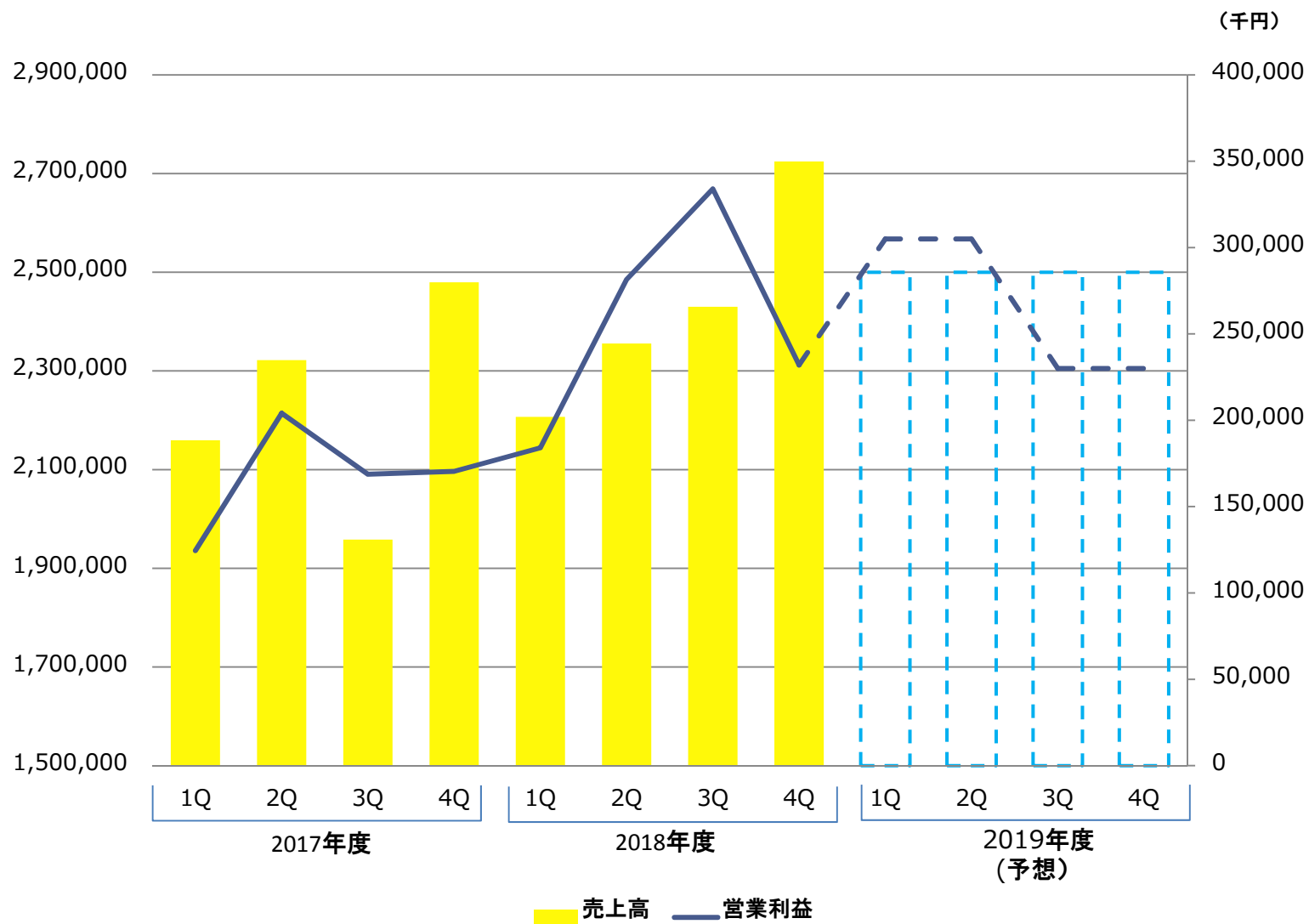
1. 2018年3月期業績概要
- 2. 2019年3月期業績予想**
3. 事業トピックス

2019年3月期業績予想 (1)

(千円)

	2018年3月期(実績)		2019年3月期(予測)		実績比	2018年9月(予測)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減率	金額	売上比
売上高	9,716,607		10,000,000		2.9%	5,000,000	
売上原価	7,305,078	75.2%	7,430,000	74.3%	1.7%	3,650,000	73.0%
販売費及び一般管理費	1,380,014	14.2%	1,500,000	15.0%	8.7%	740,000	14.8%
営業利益	1,031,514	10.6%	1,070,000	10.7%	3.7%	610,000	12.2%
経常利益	1,074,881	11.1%	1,100,000	11.0%	2.3%	630,000	12.6%
当期純利益	751,964	7.7%	760,000	7.6%	1.1%	430,000	8.6%

2019年3月期業績予想 (2)

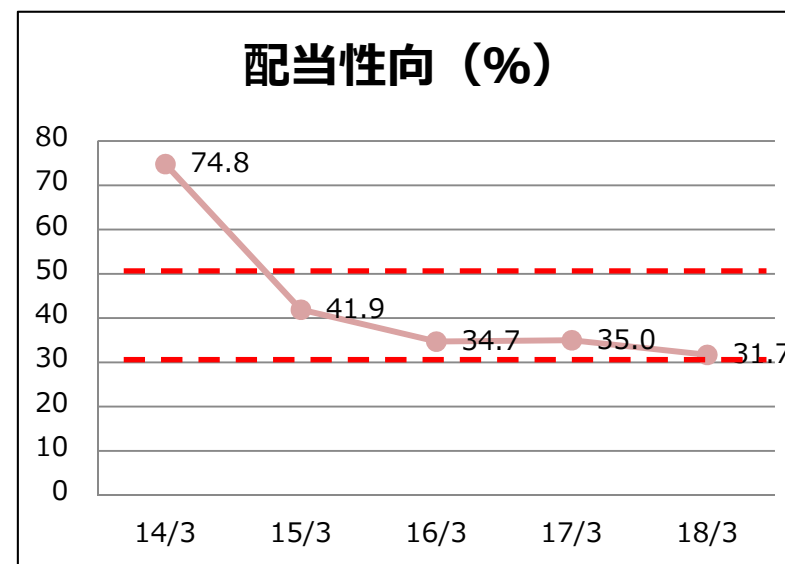
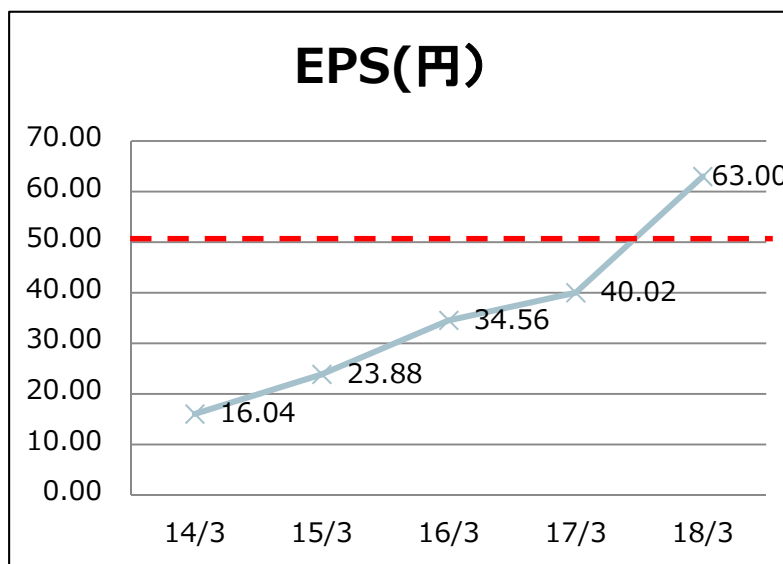
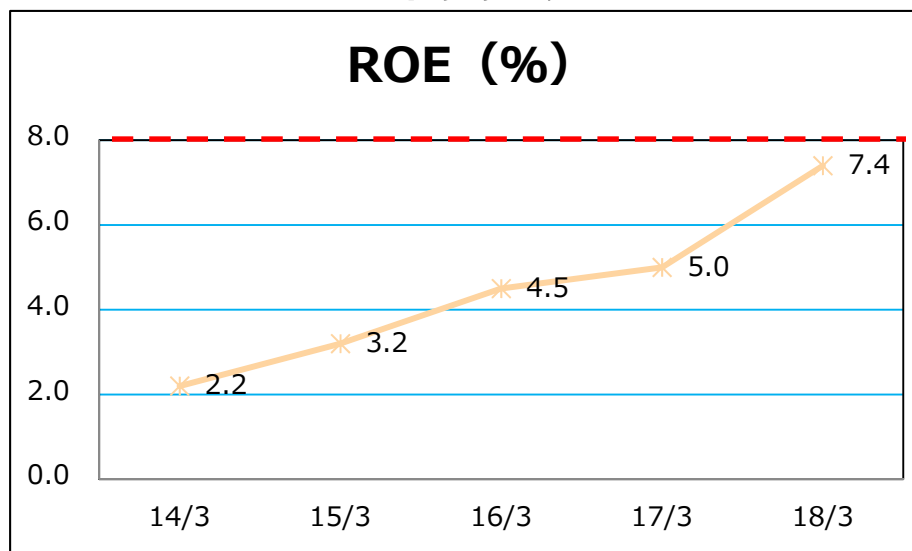


目標とする経営指標（1）

- ・ ROE（自己資本当期純利益率）
→8%以上
- ・ EPS（1株当たり当期純利益）
→50円以上
- ・ 配当性向
→30%～50%

目標とする経営指標 (2)

(過年度実績)



目次

1. 2018年3月期業績概要
2. 2019年3月期業績予想
- 3. 事業トピックス**

JANコード導入

人手不足が深刻化する中、販売店、ユーザー各社においても在庫管理の省力化、物流コスト削減は重要なポイントとなります。当社におきましても遅ればせながら、ユーザビリティ向上の一環になればとの思いから、昨年度よりJANコードを導入しております。

また、製品名をご存じないユーザーでもJANコード指定でご購入頂けることや当社製品を安心して確実にご購入頂く際のお手伝いにも一役買っております。

これからも引き続きユーザー目線に立った製品作りを心掛けてまいります。



東山工場自動倉庫稼働開始

本年3月に東山工場に新たに自動倉庫を建設致しました。お客様に安定かつ高品質の製品を継続して供給していくためには、品質が安定した原材料の入手が必要不可欠です。しかしながら、原材料によっては今後、枯渇の懸念があることから、安定した品質の原材料の確保と災害発生時への対応を目的に建設致しました。

これにより、原材料の入手不安が解消でき、高品質な製品を今まで以上に継続して提供させて頂ける体制が整いました。



（注）本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。